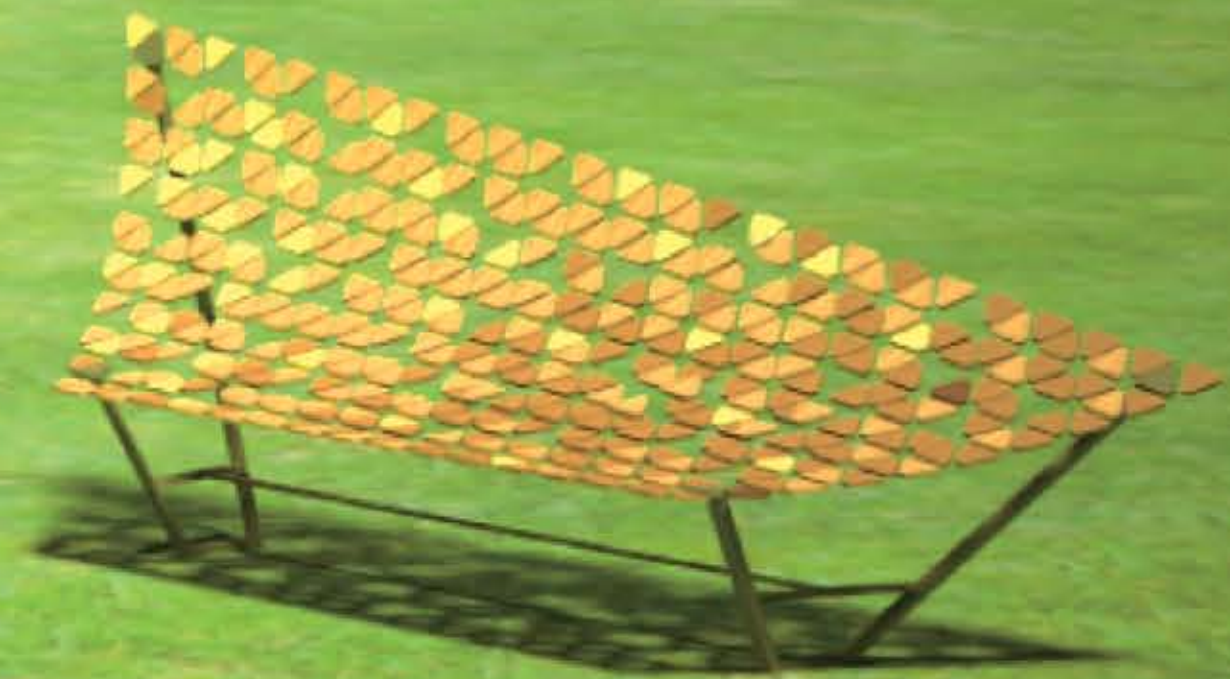


自然はさまざまな生き物の命、そして文化を育むゆりかごだ。

しかし私たちに恩恵をもたらしてくれた日本の森林は、昔のような当たり前の存在ではなくなっている。

あらためて森の恵みに思いを馳せる、そのために、  
日本の森林を創る多種多様な木の手触り、香りを編みこんだハンモックのようなベンチを製作した。

木片が集合し、家族のための小さな憩いの森を形成する。  
遊び心のある座面の造形は様々なくつろぎのスタイルを受け入れ、家族の風景をゆったりと包み込む。



# Cradle

# Cradle-2

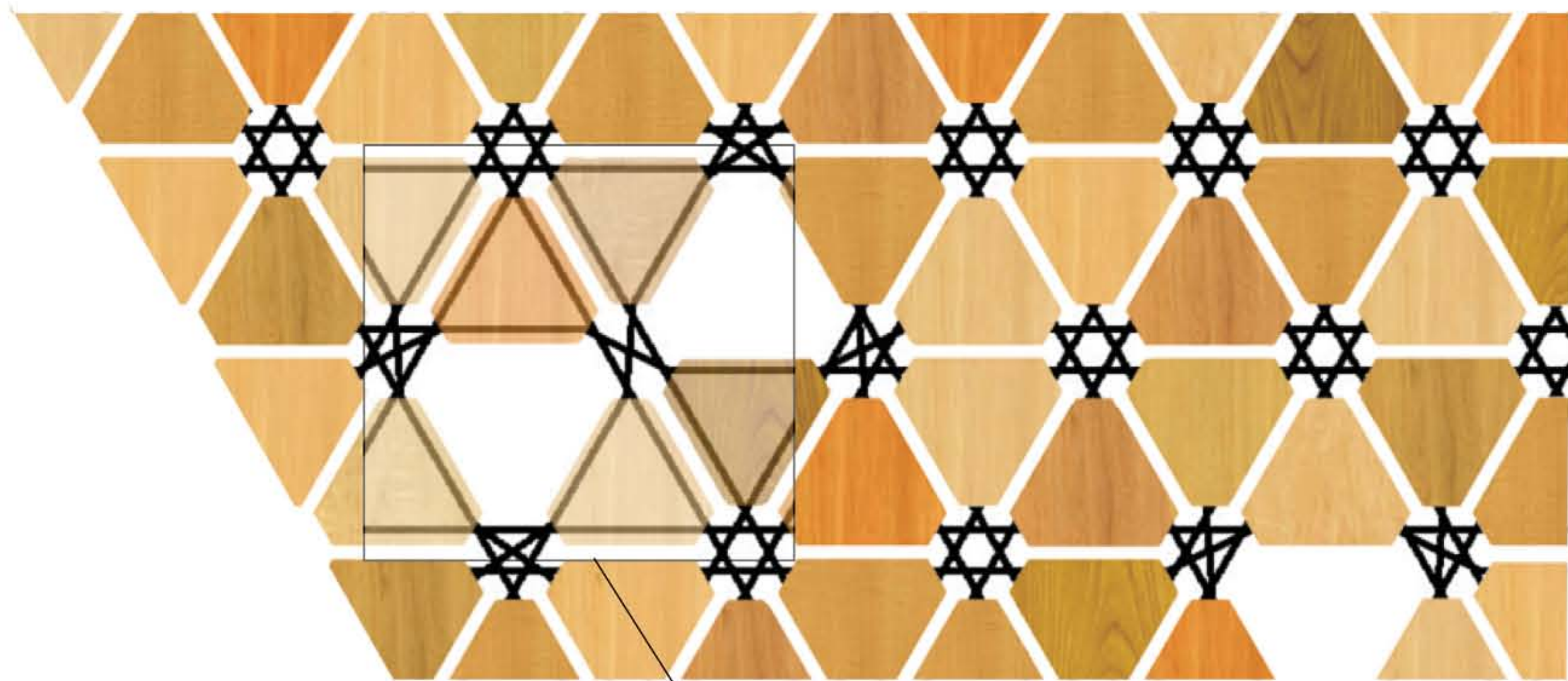
100年先の人々にも豊かなものづくりを楽しんでもらうためには、森林資源の循環的な利用が不可欠だ。

そして、良質な木材を生産するためには、間伐をして森の中に十分に光を入れ、土壌を豊かにする必要がある。

この作品では副産物としてではなく、現代の大人、子どもを新鮮で親密なものづくりあい  
に導ける表現力を持つ素材として、間伐材を利用したい。

間伐・間伐材利用に意欲的な林業家が増えるたび、Cradleを構成する木の表情は多彩になっていく。

それは日本のどこかの森林に新しい光が差し込んだらせなのだ。

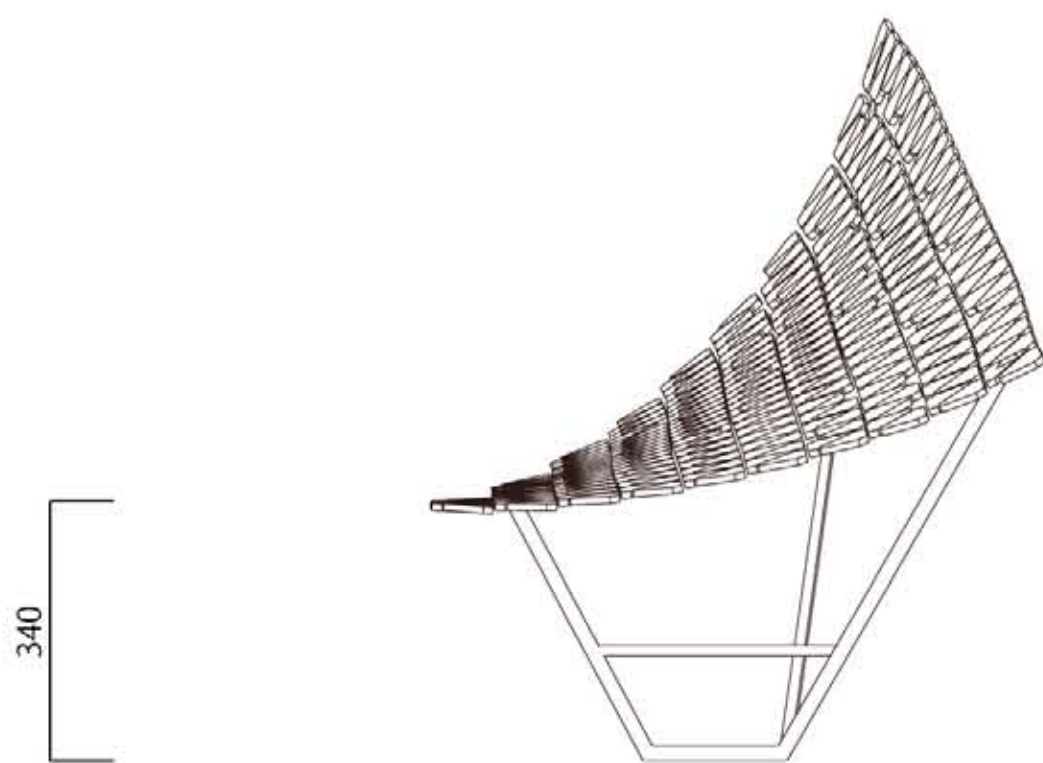


Details S=2:1

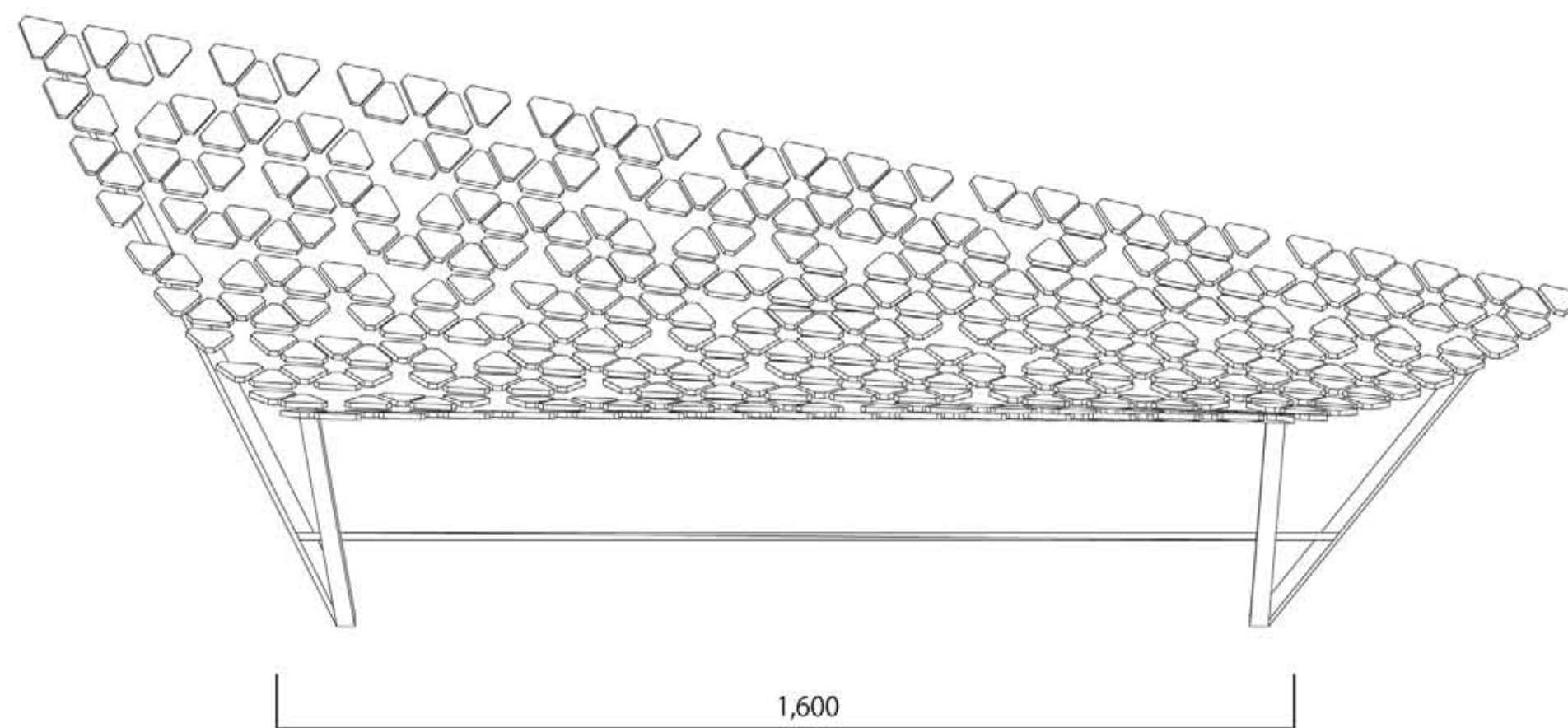
三角形の木製パーツは、各地の森林より集められた間伐材で作られており、多様な木の色、模様、質感は集合することでより互いを引き立て、建材などで使用されているときには気づけない個性を見せてくれるだろう。

これらのパーツを革紐で繋ぎ造形する台形のハンモック座面を脚のフレームの四点に掛けて使用する。

この構造のため座面には自然にたわみが発生し、くつろぎの時間へ誘う。



Right S=1:10



Front S=1:10